

東南アジア山奥の少数民族の 子供たちの瞳の輝きに学ぶ

～学ぶことの意味と喜びを日本中に、
世界中に広げたい！～

認定NPO法人 シーエスアールスクエア 理事長

宍戸 仙助 / ししど せんすけ



36年間、福島県公立学校の教員として奉職。19年間の管理職の経験と道徳教育の実践を通して、子供たちの心の教育に力を注いできた。2017年からは、認定NPO法人「シーエスアールスクエア」を設立し、海外出張・支援活動と国内外での講演活動を続けている。1952年、福島県福島市生まれ。

はじめに

退職間際に訪問することとなったアジア最貧国の一つ「ラオス」。クラスター爆弾の不発弾が、未だに8,000万個も残る過酷な環境。しかし、そこで出会ったのは、貧しくとも家族のために懸命に働きながら瞳を輝かせて学ぶ子供たちの姿でした。そして、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故。「子供たちにとって『生きる』とは、一つでも多くの、少しでも大きな夢に向かって一步一步進むこと。それが子供たちにとっての『生きる』だ」と、痛感したときでした。

それらが、私が第二の人生を生きる意味と意欲となりました。「東南アジアの貧しい教育環境で学ぶ子供たちを支えたい。」そして、「日本中の子供たちが、学ぶ動機を育み、瞳の輝きを取り戻す手伝いをしたい。」

3つのミッション

当団体を設立して7年。3つの使命により活動しています。
①東南アジアの貧しい学習環境で学ぶ子供たちの学習環境の改善を図ること。②日本の子供たちの支援を現地へ届け、継続的に交流を進めること。③日本の中学生や高校生、先生方を現地に案内し、学び教える意味と意義の再発見を促すことの3つです (HPは、<https://csr2.or.jp/>)。

学習環境の改善

福島県公立学校長を退職後、本格的に通い始めた東南アジア、ベトナム、ラオス、タイ、カンボジアの山奥。ベトナム・ラオスを中心に、山奥に住む山岳少数民族の貧しい村々の支援に明け暮れて10年。学校建築、小規模水力発電所の建設による電気の供給、寮・トイレ・飲料水用井戸掘削、飲料水

用水浄化システムの建設、幼稚園への大型遊具の設置、大型テレビやプロジェクターなどの教育機器、絵本の寄贈、奨学金制度の立ち上げなどに懸命に取り組んできました。



図1 2020年 ベトナム北部の奥地に完成したNa Kieng小学校

SDGsで定める目標の絶対貧困レベル1日1.9USD、その半分以下で暮らしながらも、家族を思いやり、家族を助けるために懸命に働きながら、「幼い弟や妹を、学校で、学びたいだけ学ばせてあげたい」と訴える子供たち。そこには、「学びの本質的価値」と思える姿がありました。さらに、私たちが忘れ始めている生涯幸せであるための大きなヒントが隠されていました。



図2 ラオス南部 妹を抱く少年(左)、サッカー大好き少年(右)

日本の子供たちの支援を届ける

出前授業や講演活動は、十年間で、小中学校を中心として通算560回、国内では、北海道東部中標津町から広島県、

島根県、そして福岡県。海外での講演も東南アジア各国のほか、USA・ロサンゼルス、チャップマン大学からフランス・パリ、エコル・ノルマル・シュペリエール大学院大学まで、十数回となっています。

その中で出会った子供たちは、「僕たち私たちも、あの貧しい子供たちを励ますため、何か力になりたい」と立ち上がってくれます。そうした子供たちから預かった支援金で教育機器等を届け、交流作品などを現地まで運び、オンラインで双方を結んで交流をすることにより、子供たちの成就感・達成感を育む活動を続けています。

また、最近では、さまざまな企業のCSR（企業の社会貢献活動）の一環として話させていただける機会が増えてきました。日本全国の学校などで、「人の役に立つ人間になろう」と訴え続けている「その理由（わけ）」を、日本の青少年の現状などと比べながら、訴えさせていただいております。



図3 2022年度、広島県福山大学での教養講座のオンデマンド配信 (YouTubeで1,850人の視聴者)

中・高校生や先生方のスタディツアー

コロナ禍で3年間実施できなかった、中・高校生を案内しての現地での交流活動も一昨年に再開し、12月には、32人の高校生の生涯の記憶に残る体験をアレンジすることができました。また、昨年8月には、日本全国から集まってくくださった先生方をはじめ23人を案内してのスタディツアーも、4年ぶりに実施でき、「教員として、教えること、

学ぶことの本質を探る一生に一度の素晴らしい体験ができました」との嬉しい感想も寄せていただいています。

今年3月末には、神奈川県の中3年生51人を案内し、観光などでは絶対に立ち入ることのできないベトナム北部の山奥の学校を訪問し、現地の中学生と交流活動の予定です。



図4 生まれて初めての「運動会交流」に喜ぶベトナム北部山岳少数民族の子供たち

おわりに

一昨年9月、寄付者が税制上の優遇措置「寄附控除」を受けられる資格「認定NPO法人」に認証いただき、昨年2月には、ベトナム政府認証の「海外NGO登録」も2度目の更新ができました。

現在、西東京市の方の支援で、ラオス中北部のシエンクアン県の小学校に4教室とトイレを建設中です。また、K-1キックボクシングの「武尊君」とのタイガーマスクプロジェクトもスタートして、ベトナム北部の山奥に2階建て6教室の小学校が完成間近です。

すべてがボランティアであることから学べる「自己有用感」の喜びから、いつまでも、東南アジアと日本中の小中学生に「夢と希望」を育み、学ぶことの本質を訴えることができることの有り難さを痛感しています。 ❖

※出前授業・講演会など、いつでもどこへでも伺います。
右のQRコードのホームページに、実績と申込みフォームがありますので、ご連絡をお待ちしております。



編集後記

MATHコンの表彰の集いは、コロナ禍により、3年連続でオンライン開催となっておりますが、昨年12月に開催した第11回の表彰の集いでは4年ぶりに受賞者の皆さんを会場にお招きすることができました。今年も会場でお会いできることを願っています。奮ってご応募ください。